

2010年 4月20日

民主党 幹事長  
小沢 一郎 殿

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議  
議長 野田 起一郎



NPO法人子宮頸がんを考える市民の会  
理事長 前濱 俊之



社団法人ティール&ホワイトトリボンプロジェクト  
理事長 河村 裕美



財団法人 日本対がん協会  
会長 垣添 忠生



### 子宮頸がん予防ワクチン接種および子宮頸がん検診の受診率向上に関する 要望書

当4団体は、専門家の立場だけではなく、患者支援団体や市民団体の立場も含め、子宮頸がんの征圧のために協力して様々な活動を行っています。子宮頸がんによって女性の命と幸せが奪われることがないように、あらゆる立場の人が子宮頸がんについて正しく理解し、実践につなげることを目指しています。

つきましては、国民の皆様に対する正しい健康教育の一環として子宮頸がん検診および予防 HPV ワクチンを広く啓発していただくこと、さらに、検診とワクチンを国の公費負担による事業としていただくよう、以下のとおり要望いたします。

#### 記

- (1) 子宮頸がん予防 HPV ワクチン」の第一に接種すべき対象である 11-14 歳女兒への接種および「子宮頸がん検診」が、今後、ともに国の継続的事業として無料で受けられること。
- (2) 公報やマスメディアを通じた積極的な広報活動で、検診と予防 HPV ワクチンの重要性がすべての国民に正しく啓発されること。
- (3) 学校において「健康教育」としての子宮頸がん予防のための検診とワクチンの重要性を正しく教育すること

以上